

盆踊り大会

敗戦が決まった昭和20年。旧嘉穂郡内でいち早く青年団を立ち上げたのは、桂川町でした。「理想的な郷土建設」という目的を掲げて邁進まいしんを続けた青年団は、主に18歳から25歳くらいまでの男性と女性で組織されており、様々な催しを企画・運営し、地域活性化に尽力していました。

そして、昭和39年に青年団は、戦没者の遺影を祭壇に飾り、戦争で亡くなった人を弔う盆踊り大会を旧桂川小学校のグラウンドなどで、開催することになりました。資金なども各青年団で寄付を募り、やぐらの準備・設置や花火大会などの運営も行っていました。

また、婦人会は盆踊り講習会を開催するなど、青年団と心を一つにし、盆踊り大会を平成7年まで続けてきたのです。

(参考：桂川町誌)



盆踊り大会の思い出

私が青年団に入ったのは、昭和54年頃。青年団の活動は多くあり、いろんな行政区の行事に参加するなど、どれも楽しい思い出があります。

その中でも、子ども会や婦人会とともに作り上げたこの盆踊り大会は、大切な思い出の一つとなっています。雨や資金面など、心配することもありましたが、青年団で一致団結して頑張ってきました。

少子化の影響か、現在は青年団が無くなり、一抹の寂しい思いもあります。

しかし、現在は様々な団体が参加する新しい形の夏まつりを、毎年楽しみに待っています。



元青年団団長
吉田 健一 さん(九郎丸)